

ZIPP

Frequently Asked Questions

EMBARGO MAY 22, 2025 CHICAGO 9:00AM



353 NSW

ZIPP



353 NSWホイールセットはどのようなライディングに向いていますか？

ZIPPの353 NSWチューブレス・ディスクブレーキホイールは、エンデュランスライダーおよびロードレーサー向けに設計されたモデルであり、あらゆる性能面において最も進化したホイールセットです。また、ZIPP初のAXS接続対応ホイールでもあります。新型353NSWはグラベルライディングには対応していません。

353 NSWホイールの重量は？

最軽量構成時で1,310gです(12mmスルーアクスル用エンドキャップ、XDRドライブボディ、ZIPP AXSホイールセンサー、リムテープ、バルブを含む)。

353 NSWに採用されているハブは？

ZR1 SLハブセットを採用。セラミックベアリング搭載、66ノッチのエンゲージメントによる優れた駆動レスポンスを誇ります。

353 NSWのドライバーボディの選択肢は？

標準でSRAM XDRまたはSRAM/Shimano(HG11)ドライバーボディが選択可能。Campagnolo(10/11/12速およびN3W)用ドライバーボディは別売りです。

353 NSWのリム単体販売はありますか？

いいえ、リム単体での販売は行っていません。

AXSホイールセンサーとは？ 353 NSWには付属しますか？

はい、ZIPP AXSホイールセンサーは353 NSWに標準装備されています。リムに一体化されており、ライド中の正確なタイヤ空気圧モニタリングを実現します。

353 NSWホイールのシリアル番号はどこにありますか？

353 NSWホイールのシリアル番号は、バルブの反対側のリム上にあるデカールに記載されています。また、出荷時の箱にも記載されており、メーカー品番やバーコードの近くに印字されています。

353 NSWホイールはZIPPの生涯保証の対象ですか？

はい、353 NSWはZIPPの生涯保証の対象です。この保証は製造上の欠陥にとどまらず、ZIPPホイールの想定された使用範囲内でのライディング中に発生した不具合(システムの故障)も対象としています。ライド中に353 NSWが破損した場合、無償で修理または交換いたします。この保証には、クラッシュやリムへの衝撃による損傷を含む、ライド中に発生したすべての構造的損傷が含まれます。ただし、定期的なメンテナンスは必要であり、スポーク、ベアリング、摩耗したフリーハブなどの消耗部品は保証の対象外です。なお、ZIPP AXSホイールセンサーは2年間の保証が適用されます。

353 NSWホイールに必要なメンテナンスは？

基本的なメンテナンスとしては、中性洗剤と水で洗浄してください。高圧洗浄機を使用する場合は、ベアリングに直接噴射しないよう注意してください。また、脱脂剤(ディグリーザー)をベアリングに直接吹きかけることも避けてください。ZIPP AXSホイールセンサーのバッテリー残量はAXSアプリで確認できます。残量が少ない場合は電池交換のタイミングです。ハブのメンテナンスについては、ZIPPのサービスサイトに掲載されているハブメンテナンスマニュアルをご参照ください。その他の詳細は、ホイールのオーナーズマニュアルのメンテナンスセクションに記載されています。

ZIPP AXSホイールセンサーのバッテリー交換方法は？

バッテリーの交換手順については、ZIPPのロードホイールマニュアルをご参照ください。そこに詳しい手順が記載されています。

AXSホイールセンサーをAXSアプリに接続するには？

SRAM AXSアプリ内の指示に従って接続を行ってください。アプリがセンサーを検出し、ベアリング手順を案内します。

353NSWホイールセットに体重制限はありますか？

はい、システム全体の最大重量制限は114kgです。
※ここでの「システム全体」とは、バイク本体・ライダー・装備品すべてを含めた合計重量です。

353 NSWホイールのリム内幅・外幅は？

内幅: 25mm

外幅: 29.5mm

353 NSWに推奨されるタイヤ幅・サイズは？

最適なパフォーマンスを得るには、Goodyear Vector R Z30 NSWタイヤの使用が推奨されています。353 NSWホイールは30mmタイヤに最適化されていますが、29mm~35mmのタイヤに対応しています。

353 NSWホイールに推奨されるタイヤ空気圧は？

最大推奨空気圧は73 psi(5 bar)です。詳しくは下記の空気圧チャートをご確認ください。

また、ZIPP AXSホイールセンサーを使えば、SRAM AXSアプリ内であなた自身とバイクに合わせた最適な空気圧の目安を簡単に確認できます。

さらに、Zippの[タイヤ空気圧ガイド](#)も、適正な空気圧を判断する際の参考になります。

622 x 25	Tires:	30-34mm MAX 65PSI/4.5 BAR
TSS Rim		35-39mm MAX 58PSI/4.0 BAR

353 NSWホイールに付属のシーラントインジェクターは使用必須ですか？

はい、必ず使用してください。353 NSWホイールに付属の専用シーラントインジェクターを使うことで、シーラントがAXSホイールセンサーをバイパスするようになっています。このインジェクターを使わずに直接シーラントを注入すると、センサー内部にシーラントが侵入して故障の原因となり、使用不能になる恐れがあります。

チューブレスタイヤではなく、チューブ+タイヤの組み合わせでも使用できますか？

はい、使用できます。ねじ切りバルブ付きのチューブを使用することで、チューブ運用も可能です。ただし、AXSホイールセンサーを機能させるには、ホイール購入時に付属している専用のねじ切りバルブ付きチューブを使用する必要があります。また、使用するタイヤはZIPPの[Tire Compatibility Chart](#) (タイヤ互換表)に記載されたチューブレス対応タイヤである必要があります。

353 NSWホイールに付属のチューブを他のホイールで使用できますか？

いいえ、推奨されません。付属のチューブはAXSホイールセンサーとの組み合わせ専用に設計されており、バルブ部分に穴が開いている構造になっています。そのため、AXSホイールセンサーがないホイールに装着しても空気を保持できず、正常に使用することはできません。

353 NSWホイールはフックレスリムですか？

はい、353 NSWはチューブレス・ストレートサイドリム形状(フックレス)で、ISO規格に準拠しています。

353 NSWホイールに必要なリムテープの種類は？

26mm幅のチューブレスリムテープを使用します。ZIPP純正のテープを推奨していますが、他社製のチューブステープでも代用可能です。タイヤ交換時には必ずテープの状態を確認してください。テープが剥がれている場合は交換が必要です。ZIPPでは、交換用リムテープおよびバルブキットも販売しています。

353 NSWホイールのグラフィックはどうやって施されていますか？剥がすことは可能ですか？

グラフィックはZIPP独自のImPress(インプレス)ダイレクトプリントおよびモールド成形グラフィックによって印刷されています。剥がすことはできません。リムの清掃には中性洗剤と水をご使用ください。必要に応じてイソプロピルアルコールも使用可能です。

ただし、脱脂剤やアセトンの使用は禁止です。ImPressは再プリントできません。

353 NSWホイールは6ボルトとセンターロック、どちらのディスクローター方式ですか？

センターロック式です。ロックリングはホイールに付属しています。

353 NSWホイールに最適化されたタイヤは？

Goodyear Vector R Z30 NSWタイヤは、新型353 NSWリムとの同時開発により、空力効率・転がり効率・振動吸収性能すべてにおいて最適な組み合わせとなっています。ZIPP 353 NSWで最高の走行性能を発揮したい方に最も推奨されるタイヤです。



ZIP

303 SW

303 SWホイールセットはどのようなライディングに向いていますか？

303 SWはZIPPの万能型ホイールセットであり、ロード、グラベル、石畳、シクロクロスにおいて優れたスピード性能を発揮します。

303 SWホイールの重量は？

1440gです。

303 SWホイールに採用されているハブは？

ステンレス製ベアリング仕様のZR1ハブセットが搭載されています。耐久性が向上し、スムーズな回転性能を実現しています。

303 SWホイールのドライバーボディの選択肢は？

標準でSRAM XDRまたはSRAM/Shimano (HG11)ドライバーボディが選択可能。Campagnolo (10/11/12速およびN3W) 用ドライバーボディは別売りです。

303 SWリムは単体販売されていますか？

いいえ、リム単体での販売は行っていません。

AXSホイールセンサーとは？ 303 SWに付属しますか？

はい、ZIPP AXSホイールセンサーは303 SWに標準装備されています。リムに一体化されたセンサーにより、ライド中の正確な空気圧モニタリングが可能です。

303 SWホイールのシリアル番号はどこにありますか？

シリアル番号は、バルブの反対側のリム上に貼られたデカールに記載されています。また、出荷時の箱にも記載されており、メーカー品番やバーコードの近くに表示されています。

303 SWホイールはZIPPの生涯保証の対象ですか？

はい、303 SWはZIPPの生涯保証の対象です。この保証は製造上の欠陥にとどまらず、ZIPPホイールの想定された使用範囲内でのライディング中に発生した不具合（システムの故障）も対象としています。ライド中に303 SWが破損した場合、無償で修理または交換いたします。この保証には、クラッシュやリムへの衝撃による損傷を含む、ライド中に発生したすべての構造的損傷が含まれます。ただし、定期的なメンテナンスは必要であり、スポーク、ベアリング、摩耗したフリーハブなどの消耗部品は保証の対象外です。なお、ZIPP AXSホイールセンサーは2年間の保証が適用されます。

303 SWホイールに必要なメンテナンスは？

基本的なメンテナンスとしては、中性洗剤と水での洗浄を推奨します。高圧洗浄機を使用する場合は、ベアリング部に直接吹きかけないように注意してください。また、脱脂剤（ディグリーザー）をベアリング部に直接吹きかけることも避けてください。ハブのメンテナンスについては、ZIPPの公式サービスサイトに掲載されているハブメンテナンスマニュアルをご参照ください。その他の詳細は、ホイールのオーナーズマニュアルのメンテナンスセクションに記載されています。

ZIPP AXSホイールセンサーのバッテリー交換方法は？

バッテリーの交換方法は、ZIPPのロードホイールマニュアルに記載されています。そちらをご参照ください。

AXSホイールセンサーをAXSアプリに接続するには？

SRAM AXSアプリ内の案内に従って接続してください。アプリがセンサーを自動的に検出し、ベアリング手順を案内します。

303 SWホイールセットの重量制限はありますか？

はい、システム全体の最大重量は114kgです。
※ここでの「システム全体」とは、バイク本体・ライダー・装備品すべてを含めた合計重量を指します。

303 SWホイールのリム幅（内幅／外幅）は？

内幅：25mm

外幅：33mm

外幅はワイドアップライト形状となっており、ピンチフラット（リム打ちパンク）を最小限に抑える設計です。

303 SWに推奨されるタイヤ幅・サイズは？

303 SWホイールは、30mm～44mmのタイヤに最適化されており、最も優れたパフォーマンスを発揮するのは35mmタイヤです。

303 SWホイールに推奨されるタイヤ空気圧は？

最大空気圧は73 psi (5 bar) です。

より詳細な推奨空気圧は、ZIPPの [空気圧チャート](#) をご確認ください。

また、ZIPP AXSホイールセンサーを使えば、SRAM AXSアプリ内であなた自身とバイクに合わせた最適な空気圧の目安を簡単に確認できます。さらに、Zippの[タイヤ空気圧ガイド](#)も、適正な空気圧を判断する際の参考になります。

622 x 25	Tires:	30-34mm MAX 65PSI/4.5 BAR
TSS Rim		35-39mm MAX 58PSI/4.0 BAR
		40-44mm MAX 51PSI/3.5 BAR

303 SWホイールに付属のシーラントインジェクターは使用すべきですか？はい、必ず使用してください。

303 SWホイールに付属の専用シーラントインジェクターを使用することで、シーラントがAXSホイールセンサーをバイパスして注入されます。このインジェクターを使わずに注入すると、センサー内部にシーラントが流入して故障し、使用不能になる恐れがあります。

チューブレスタイヤではなく、チューブ+タイヤの組み合わせでも使用できますか？

はい、使用可能です。ねじ切りバルブ付きのチューブを使用することで、チューブ運用もできます。ただし、AXSホイールセンサーを機能させるには、ホイール購入時に付属している専用のチューブを使用してください。また、使用するタイヤは、ZIPPの[Tire Compatibility Chart](#)(タイヤ互換表)に記載された承認済みのチューブレス対応タイヤである必要があります。

303 SWホイールに付属のチューブを他のホイールで使用できますか？

いいえ、使用できません。

付属のチューブはAXSホイールセンサーとの併用を前提に設計されており、バルブに穴が開いている構造になっています。そのため、AXSセンサー非搭載のホイールでは空気を保持できず、使用できません。

303 SWホイールはフックレスリムビード設計ですか？

はい、チューブレス・ストレートサイド(TSS)リム形状を採用しており、ISO規格に準拠しています。

303 SWホイールに必要なリムテープの種類は？

26mm幅のチューブレス対応テープを使用します。

ZIPP純正テープを推奨していますが、他社製の高品質なチューブレスリムテープも使用可能です。タイヤ交換時には必ずテープの状態を確認し、剥がれや浮きが見られる場合は新しいテープに交換してください。

ZIPPでは交換用リムテープとバルブキットを販売しています。

303 SWホイールのグラフィックはどのように施されていますか？剥がすことは可能ですか？

303 SWのグラフィックは、ZIPPのImPressテクノロジーとビニールデカールによって施されています。ビニールデカールは剥離可能です。

303 SWホイールのディスクブレーキローター方式は6ボルトですか？センターロックですか？

センターロック方式です。ロックリングはホイールに付属しています。

303 SWホイールに最適化されたタイヤは？

Goodyear Vector R Z30 SWおよびVector R Z35 SWタイヤは、303 SWリムと同時開発された専用設計のタイヤであり、エアロ性能・転がり抵抗・快適性において最適なマッチングを実現します。

454 NSW

ZIPP



454 NSWホイールセットはどのようなライディングに向いていますか？

454 NSWはZIPPの究極のロードレース用ホイールセットです。グラベルライディングには対応していません。

454 NSWホイールの重量は？

最軽量構成で1,400gです(12mmスルーアクスル用エンドキャップとXDRドライバーボディ、リムテープおよびバルブ含む)。これは前モデルより30g以上軽量化されています。

454 NSWに採用されているハブは？

セラミックベアリングを採用したZR1 SLハブセットを搭載しています。

454 NSWホイールのドライバーボディの選択肢は？

標準でSRAM XDRまたはSRAM/Shimano (HG11)に対応。Campagnolo (10/11/12速およびN3W)用ドライバーボディは別売りです。

454 NSWリムは単体販売されていますか？

いいえ、リム単体での販売は行っていません。

454 NSWホイールのシリアル番号はどこにありますか？

バルブの反対側のリム上のデカールに記載されています。また、出荷用の箱にも記載されており、メーカー品番やバーコードの近くに印字されています。

454 NSWホイールはZIPPの生涯保証の対象ですか？

はい、454 NSWはZIPPの生涯保証の対象です。この保証は製造上の欠陥にとどまらず、ZIPPホイールの想定された使用範囲内のライディング中に発生した不具合(システムの故障)も対象としています。ライド中に454 NSWが破損した場合、無償で修理または交換いたします。この保証には、クラッシュやリムへの衝撃による損傷を含む、ライド中に発生したすべての構造的損傷が含まれます。ただし、定期的なメンテナンスは必要であり、スポーク、ベアリング、摩耗したフリーハブなどの消耗部品は保証の対象外です。

454 NSWホイールに必要なメンテナンスは？

基本的なメンテナンスとしては、中性洗剤と水での洗浄を推奨します。高圧洗浄機を使用する場合は、ベアリング部に直接スプレーしないように注意してください。また、脱脂剤(ディグリーザー)をベアリングに直接吹きかけるのも避けてください。ハブのメンテナンスに関しては、ZIPPのサービスサイトに掲載されているハブメンテナンスマニュアルをご参照ください。そのほかの詳細は、ホイールのオーナーズマニュアルのメンテナンスセクションにも記載されています。

454 NSWホイールセットの重量制限はありますか？

はい、システム全体の最大重量は114kgです。
※ここでの「システム全体」とは、バイク本体・ライダー・装備品すべてを含めた合計重量を指します。

454 NSWホイールのリム幅(内幅/外幅)は？

内幅: 23mm
外幅: 27.5mm

454 NSWホイールに最適なタイヤ幅/サイズは？

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aeroは、454 NSWホイールに最適化されたタイヤです。このタイヤは、空力性能と転がり抵抗の最良バランスを提供し、適切な空気圧と組み合わせることで、454 NSWホイールの性能を最大限に引き出します。他のタイヤを使用する場合は、28mmタイヤが最適な選択となります。454 NSWホイールは、28mm~35mmのタイヤ幅に対応しています。

454 NSWホイールに推奨されるタイヤ空気圧は？

最大推奨空気圧は73 psi (5 bar)です。(詳細は空気圧チャートをご参照ください)。ZIPPの[Tire Pressure Guide](#)(空気圧ガイド)を使用すれば、ライダーや使用状況に応じた最適な空気圧を確認できます。454 NSWのワイドなタイヤベッドは、より太いタイヤと低めの空気圧に対応しており、転がり抵抗を低減してさらなるスピードアップにつながります。

622 x 23	Tires:	28-29mm MAX 72PSI/5.0 Bar
TSS Rim		30-34mm MAX 65PSI/4.5 Bar
		35mm MAX 58PSI/4.0 Bar

454 NSWホイールをチューブレスではなく、チューブ+タイヤで使用できますか？

はい、チューブを使用して運用することは可能です。ただし、フックレスリム対応のタイヤ(ZIPPの[Tire Compatibility Chart](#)に記載されたモデル、またはタイヤメーカーが適合と認めている製品)を必ず使用してください。また、推奨空気圧の範囲を超えないようにするためにも、ZIPPの[タイヤ空気圧ガイド](#)をご参照の上、適正な空気圧でご使用ください。

454 NSWホイールはフックレスリムビード設計ですか？

はい、454 NSWはチューブレス・ストレートサイド(TSS)リム形状を採用しており、ISO規格に準拠しています。

454 NSWホイールに必要なリムテープの種類は？

26mm幅のチューブレス対応リムテープを使用します。ZIPP純正のテープを推奨していますが、他社製の高品質なテープも使用可能です。タイヤ交換の際には、リムテープが剥がれていないか・浮いていないかを必ず確認してください。ZIPPでは、交換用リムテープとバルブキットも取り扱っています。

454 NSWホイールのグラフィックはどのように施されていますか？剥がすことはできますか？

グラフィックは、ZIPP独自のImPressダイレクトプリントにより施されており、剥がすことはできません。リムの清掃には中性洗剤と水を使用してください。必要に応じてイソプロピルアルコールの使用も可能です。ただし、脱脂剤やアセトンを使用禁止です。ImPressリムは再プリント不可となっています。

454 NSWホイールのディスクローター方式は6ボルトですか？センターロックですか？

センターロック方式を採用しています。ロックリングはホイールに付属しています。

454 NSWホイールに最適化されたタイヤは？

ZIPPはGoodyearと提携し、454 NSWホイール専用設計の「Goodyear Eagle F1 R Z29」タイヤを開発しました。このタイヤは空力性能と低転がり抵抗を高いレベルで両立し、さらなるスピードアップを可能にする最適な組み合わせです。

ZIP

858 NSW



858 NSWホイールセットはどのようなライディングに向いていますか？

858 NSWはZIPP史上最速のディープリムホイールセットで、ロード、トライアスロン、タイムトライアル向けに設計されています。

858 NSWホイールの重量は？

最軽量構成で1,500gです(12mmスルーアクスル用エンドキャップ、XDRドライバーボディ、リムテープ、バルブを含む)。

これは前モデルより30g以上軽量化されています。

858 NSWホイールに採用されているハブは？

セラミックベアリングを採用したZR1 SLハブセットを搭載しています。

858 NSWホイールのドライバーボディの選択肢は？

標準でSRAM XDRまたはSRAM/Shimano (HG11)に対応。

Campagnolo (10/11/12速およびN3W) のドライバーボディは別売りです。

858 NSWのリムは単体で購入できますか？

いいえ、リム単体での販売は行っていません。

858 NSWホイールのシリアル番号はどこにありますか？

バルブの反対側のリム上のデカールに記載されています。また、出荷用の箱にも記載されており、メーカー品番やバーコードの近くに印字されています。

858 NSWホイールはZIPPの生涯保証の対象ですか？

はい、858 NSWはZIPPの生涯保証の対象です。この保証は製造上の欠陥にとどまらず、ZIPPホイールの想定された使用範囲内のライディング中に発生した不具合(システムの故障)も対象としています。ライド中に858 NSWが破損した場合、無償で修理または交換いたします。この保証には、クラッシュやリムへの衝撃による損傷を含む、ライド中に発生したすべての構造的損傷が含まれます。ただし、定期的なメンテナンスは必要であり、スポーク、ベアリング、摩耗したフリーハブなどの消耗部品は保証の対象外です。

858 NSWホイールに必要なメンテナンスは？

基本的なメンテナンスとしては、中性洗剤と水での洗浄を推奨します。高圧洗浄機を使用する場合は、ベアリング部に直接スプレーしないように注意してください。また、脱脂剤(ディグリーザー)をベアリングに直接吹きかけるのも避けてください。ハブのメンテナンスに関しては、ZIPPのサービスサイトに掲載されているハブメンテナンスマニュアルをご参照ください。そのほかの詳細は、ホイールのオーナーズマニュアルのメンテナンスセクションにも記載されています。

858 NSWホイールセットの重量制限はありますか？

はい、システム全体の最大重量は114kgです。

※ここでの「システム全体」とは、バイク本体・ライダー・装備品すべてを含めた合計重量を指します。

858 NSWホイールのリム幅(内幅/外幅)は？

内幅: 23mm

外幅: 27mm

858 NSWホイールに推奨されるタイヤ幅/サイズは？

最も高いパフォーマンスを発揮するのは28mmタイヤです。

また、最低タイヤ幅は28mmで、28mm~32mmのタイヤに対応しています。

858 NSWホイールに推奨されるタイヤ空気圧は？

最大推奨空気圧は73 psi (5 bar)です。(詳細は空気圧チャートをご参照ください)。ZIPPの[Tire Pressure Guide](#)(空気圧ガイド)を使用すれば、ライダーや使用状況に応じた最適な空気圧を確認できます。858 NSWのワイドなタイヤベッドは、より太いタイヤと低めの空気圧に対応しており、転がり抵抗を低減してさらなるスピードアップにつながります。

622 x 23	Tires:	28-29mm MAX 72PSI/5.0 BAR
TSS Rim		30-32mm MAX 65PSI/4.5 BAR

858 NSWホイールはフックレスリムビード設計ですか？

はい、858 NSWはチューブレス・ストレートサイド(TSS)リム形状を採用しており、ISO規格に準拠しています。

858 NSWホイールをチューブ+タイヤで使用できますか？

はい、チューブでの使用も可能です。ただし、ZIPPの[Tire Compatibility Chart](#)に記載された、またはタイヤメーカーが適合と認めているフックレス対応タイヤを必ず使用してください。また、推奨空気圧範囲を超えないように、ZIPPの[Tire Pressure Guide](#)(タイヤ空気圧ガイド)をご参照ください。

858 NSWホイールに必要なリムテープの種類は？

26mm幅のチューブレス用リムテープが必要です。ZIPP純正のテープが推奨されていますが、高品質な他社製テープでも使用可能です。タイヤ交換時には、テープが剥がれたり浮いたりしていないか確認し、問題があれば新しいテープに交換してください。ZIPPでは、交換用リムテープとバルブキットも取り扱っています。

858 NSWホイールのグラフィックはどう施されていますか？剥がすことは可能ですか？

グラフィックは、ZIPP独自のImPressダイレクトプリントにより施されており、剥がすことはできません。リムの清掃には中性洗剤と水を使用してください。必要に応じてイソプロピルアルコールの使用も可能です。ただし、脱脂剤やアセトンの使用禁止です。ImPressリムは再プリント不可となっています。

858 NSWホイールのディスクブレーキローター方式は？

センターロック方式を採用しています。ロックリングはホイールに付属していません。

ZR1 SL



ZIPP

ZR1 SLハブの重量はどのくらいですか？

ZR1 SLハブセットは軽量で、NSWホイール向けに設計された仕様で304gです。

ZR1 SLハブのエンドキャップはどのように交換しますか？

ZR1 SLハブの [マニュアル](#) をご参照ください。交換手順が詳細に記載されています。

ZR1 SLハブのメンテナンス方法は？

ZR1 SLハブのメンテナンスおよびサービス方法については、専用 [マニュアル](#) をご確認ください。

ZR1 SLハブのハブスペーシングは？

標準的なロード・グラベルバイク用のエンド幅に対応しており、フロント100mm、リア142mmのフレームに適合します。

ZR1 SLハブにはどのホール数がありますか？

20H、24H、28Hの3種類がラインナップされています。

ZR1 SLハブはどのスポークと互換性がありますか？

Jベンドスポーク用に設計されています。

ZR1 SLハブに対応するドライバーボディは？

ZR1 SLハブは、XDR、HG11、Microspline、N3Wの各種ドライバーボディに対応しています。

ZR1 SLハブに使用されているベアリングサイズは？

フロントハブ、ドライバーボディ、そしてリアハブのノンドライブ側に61803ベアリングが、リアハブのドライブ側には61903ベアリングが使用されています。ZIPPでは、ハブの性能を最大限に引き出し、ベアリングの寿命を延ばすために、すべてのハブにおいてZIPP純正の交換用ベアリングの使用を推奨しています。

ZR1 SLハブのポイント・オブ・エンゲージメント(噛み合いポイント)は？

ZR1 SLハブはホイール1周当たり66か所の噛み合いポイントを備えており、素早い駆動応答を実現します。

ZR1 SLハブはEバイクでも使用できますか？

はい、ZR1 SLハブは最大トルク60NmまでのEバイクに対応しています。

ZIP

Fitment Series



Goodyear Vector R XPLR

なぜZIPPはGoodyearと提携してタイヤを開発したのですか？

Goodyearは、スピード、耐久性、コントロール性能に優れたタイヤを長年にわたって開発してきた実績があります。彼らの新しいアプローチによる自転車タイヤの開発は、ZIPPが掲げるTotal System Efficiency(TSE)を完成させる最後の要素として理想的でした。このコラボにより、ZIPPホイールに最適化された、転がりが軽く、空力的にも優れた専用タイヤを実現することができました。

Goodyear Vector R XPLRタイヤの特長は？

Goodyear Vector R XPLRタイヤは、ZIPPの革新的な303 XPLRホイール専用に設計されたモデルで、高い成果を求めるライダーのために、究極のホイール&タイヤシステムを提供します。40mm幅のVector R XPLRは、ZIPPの32mm幅フックレスリムに完璧に最適化されており、卓越した空力性能、快適性、そして高精度なハンドリングを実現します。また、しなやかな120TPIケーシングと、軽量で高強度なR:ShieldおよびM:Wallプロテクションレイヤーを組み合わせた高度な構造設計により、過酷な路面でも自信を持って走り抜けるための性能を備えています。

Vector R XPLRタイヤはどのホイールに対応していますか？

Goodyear Vector R XPLRタイヤは、ZIPP 303 XPLR Sおよび303 XPLR SWホイールと互換性があります。

Vector R XPLRタイヤの重量は？

Goodyear Vector R XPLRタイヤの重量は440gです。

Goodyear Vector R XPLRタイヤはどこで購入できますか？

GoodyearまたはZIPPの正規販売店で購入できます。

Goodyear Vector R XPLRタイヤはチューブと併用できますか？

はい、チューブとの併用も可能です。チューブを使用する場合でも、空気圧の推奨値はチューブレス時と同じです。適正な空気圧は、ZIPPの[Tire Pressure Guide](#) (タイヤ空気圧ガイド)を参考にしてください。

タイヤの空気が一晩または数日で抜けることはありますか？

はい、一定の空気圧低下は自然な現象です。タイヤの構造、使用しているシーラントの量、リムベッドの状態など複数の要因によって空気の減少量は異なりますが、24時間で最大10psi(約0.67Bar)程度の空気圧低下は正常な範囲です。空気の減少が通常より速い場合は、シーラントの量が不足している可能性や、タイヤビードやリムテープに汚れや浮きがあり密閉が不十分な状態、あるいはタイヤがしっかりとリムに密着していないことが原因として考えられます。これらの要因によって気密性が保てず、エア漏れが発生している可能性がありますので、必要に応じてシーラントの補充やタイヤの再装着、またはテープの交換を行ってください。

シーラントはどのくらいの頻度で交換する必要がありますか？

シーラントの交換頻度は使用しているブランドの指示に従ってください。製品ごとに推奨交換サイクルが異なります。

数日間自転車置いていたらタイヤがベシャンコになっていました。どうすればいいですか？

まずはタイヤに空気を再注入し、エア漏れがあるかを確認してください。もし漏れがある場合は、その部分を下に回し、シーラントが漏れを塞ぐのを待ちます。それでもエア漏れが続く場合は、シーラントを補充するか、タイヤ自体を交換する必要があります。

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aero

なぜZIPPはGoodyearと提携してタイヤを開発したのですか？

Goodyearは、スピード、耐久性、コントロール性能に優れたタイヤを長年にわたって開発してきた実績があります。彼らの新しいアプローチによる自転車タイヤの開発は、ZIPPが掲げるTotal System Efficiency (TSE)を完成させる最後の要素として理想的でした。このコラボにより、ZIPPホイールに最適化された、転がりが軽く、空力的にも優れた専用タイヤを実現することができました。

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aero タイヤの特長は？

このタイヤは、ZIPPの404 Firecrestおよび454 NSWホイールとシームレスに一体化し、これまでになく空力効率と超低転がり抵抗を実現します。Aero Lipテクノロジーにより空気抵抗を最小限に抑えるだけでなく、耐久性も向上し、ピンチフラット(リム打ちパンク)を防ぎながらもしなやかなサイドウォールで快適性を確保しています。さらに、Goodyear独自のDynamic:UHPコンパウンド、軽量な180TPIケーシング、実績あるR:Shield耐パンクベルトを組み合わせた設計により、速さと耐久性を兼ね備えたハイパフォーマンスタイヤに仕上がっています。

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aeroタイヤはどのホイールに対応していますか？

このタイヤはすべてのZIPP製ロードホイールに対応していますが、特に404 Firecrestおよび454 NSWホイールセットとの組み合わせで最も優れた性能を発揮します。

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aeroタイヤの重量は？

わずか270gと非常に軽量です。

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aeroタイヤはどこで購入できますか？

GoodyearまたはZIPPの正規販売店にて購入可能です。

Goodyear Eagle F1 R Z29 Aeroタイヤはチューブと併用できますか？

はい、チューブと併用することが可能です。チューブを使用する場合でも、空気圧の推奨値はチューブレスの場合と同じです。最適な空気圧の確認には、ZIPPの[Tire Pressure Guide](#) (空気圧ガイド)をご利用ください。

タイヤの空気が一晩または数日で抜けてしまうことはありますか？

はい、一定の空気圧低下は自然な現象です。タイヤの構造、使用しているシーラントの量、リムベッドの状態など複数の要因によって空気の減少量は異なりますが、24時間で最大10psi(約0.67Bar)程度の空気圧低下は正常な範囲です。空気の減少が通常より速い場合は、シーラントの量が不足している可能性や、タイヤビードやリムテープに汚れや浮きがあり密閉が不十分な状態、あるいはタイヤがしっかりとリムに密着していないことが原因として考えられます。これらの要因によって気密性が保てず、エア漏れが発生している可能性がありますので、必要に応じてシーラントの補充やタイヤの再装着、またはテープの交換を行ってください。

シーラントの交換頻度はどれくらいですか？

交換頻度は使用しているシーラントブランドの指示に従ってください。製品ごとに推奨交換サイクルが異なります。

数日間放置していたらタイヤがベシヤンコになっていました。どうすればいいですか？

まずはタイヤに空気を再注入し、エア漏れがあるかを確認してください。もし漏れがある場合は、その部分を下に回し、シーラントが漏れを塞ぐのを待ちます。それでもエア漏れが続く場合は、シーラントを補充するか、タイヤ自体を交換する必要があります。

THESE ARE REGISTERED TRADEMARKS OF SRAM: 1:1[®], 202[®], 303[®], 353[®], 404[®], 808[®], 858[®], Accuwatt[®], Avid[®], AXS[®], Bar[®], Bioposition[®], Blackbox[®], Bluto[®], BoXXer[®], DoubleTap[®], eTap[®], Firecrest[®], Firex[®], GIGA PIPE[®], Grip Shift[®], GX[®], GXP[®], Holzfeller[®], Hussefelt[®], ICLIC[®], i-Motion[®], Judy[®], Know Your Powers[®], NSW[®], NX[®], Omnium[®], OSMOS[®], Pike[®], PowerCal[®], PowerLock[®], PowerTap[®], Qollector[®], Quarq[®], RacerMate[®], Reba[®], Reverb[®], Rock Shox[®], Rudy[®], Ruktion[®], Service Course[®], ShockWiz[®], SID[®], Single Digit[®], Speed Dial[®], Speed Weaponry[®], Spinscan[®], SRAM[®], SRAM APEX[®], SRAM EAGLE[®], SRAM FORCE[®], SRAM RED[®], SRAM RIVAL[®], Stylo[®], SX[®], TIME[®], Truvativ[®], Tyrewiz[®], UDH[®], Varicrank[®], Velotron[®], Vivid[®], X0[®], X01[®], X-SYNC[®], XX1[®], Yari[®], ZEB[®], ZIPP[®]

THESE ARE TRADEMARKS OF SRAM: 10K[™], 1X[™], 30[™], 30 Course[™], 35[™], 302[™], 454[™], 3ZERO MOTO[™], ABLC[™], AeroGlide[™], AeroBalance[™], AeroLink[™], Airea[™], Air Guides[™], AirWiz[™], AKA[™], AL-7050-TV[™], ATAC[™], ATMOS[™], Automatic Drive[™], AxCad[™], Axial Clutch[™], Base[™], BB5[™], BB7[™], BB30[™], Bleeding Edge[™], Blipbox[™], BlipClamp[™], BlipGrip[™], Blips[™], Bottomless Tokens[™], Buttercup[™], Cage Lock[™], Carbon Bridge[™], Centera[™], Charger 2[™], Charger[™], Charger Race Day[™], Cleansweep[™], Clickbox Technology[™], Clics[™], Code[™], Cognition[™], CoLab[™], Connectamajig[™], Counter Measure[™], CYCLO[™], DB8[™], DD3[™], DD3 Pulse[™], DebonAir[™], Deluxe[™], Descendant[™], DFour[™], DFour91[™], DH[™], Dig Valve[™], DirectLink[™], Direct Route[™], Domain[™], DOT 5.1[™], Double Decker[™], Double Time[™], Dual Flow Adjust[™], Dual Position Air[™], DUB[™], DUB-PWR[™], DZero[™], E300[™], E400[™], Eagle[™], E-Connect4[™], ErgoBlade[™], ErgoDynamics[™], ESP[™], EX1[™], Exact Actuation[™], Exogram[™], Fast Black[™], Flight Attendant[™], Flow Link[™], FR-5[™], Full Pin[™], G2[™], G40[™], Gnar Dog[™], GS[™], Guide[™], Hard Chrome[™], Hexfin[™], HollowPin[™], Howitzer[™], HRD[™], HS2[™], Hybrid Drive[™], Hyperfoil[™], i-3[™], Impress[™], Jaws[™], Jet[™], Kage[™], Komfy[™], LINK[™], Lyrik[™], MatchMaker[™], Maxle[™], Maxle 360[™], Maxle DH[™], Maxle Lite[™], Maxle Lite DH[™], Maxle Stealth[™], Maxle Ultimate[™], MicroAdjust[™], Micro Gear System[™], Mini Block[™], Mini Cluster[™], Monarch[™], Monarch Plus[™], Motion Control[™], Motion Control DNA[™], MultiClics[™], MRX[™], MX[™], Noir[™], OCT[™], OmniCal[™], OneLoc[™], Paceline[™], Paragon[™], PC-1031[™], PC-1110[™], PC-1170[™], PG-

1130[™], PG-1050[™], PG-1170[™], Piggyback[™], Poploc[™], Power Balance[™], Power Bulge[™], PowerChain[™], PowerDomeX[™], Powered by SRAM[™], PowerGlide[™], PowerLink[™], Power Pack[™], Power Spline[™], Predictive Steering[™], Pressfit[™], Pressfit 30[™], Prime[™], Qalvin[™], R2C[™], Rapid Recovery[™], Recon[™], Revelation[™], Riken[™], Roller Bearing Clutch[™], Rolling Thunder[™], RS-1[™], Rush[™] Damper, RXS[™], Sag Gradients[™], Sawtooth[™], SCT - Smart Coasterbrake Technology, Seeker[™], Sektor[™], SHIFT[™], ShiftGuide[™], Shorty[™], Showstopper[™], SIDLuxe[™], Side Swap[™], Signal Gear Technology[™], SL[™], SL-70[™], SL-70 Aero[™], SL-70 Ergo[™], SL-70 XPLR[™], SL-80[™], SL 80 RACE[™], SL-88[™], SLC2[™], SL SPEED[™], SL Sprint[™], Smart Connect[™], Solo Air[™], Solo Spoke[™], Speciale[™], SpeedBall[™], Speed Metal[™], SRAM APEX 1[™], SRAM Force 1[™], SRAM RIVAL 1[™], S-series[™], Stealth-a-majig[™], StealthRing[™], Super-9[™], Supercork[™], Super Deluxe[™], Super Deluxe Coil[™], SwingLink[™], Tangente[™], TaperCore[™], ThruShaft[™], Timing Port Closure[™], Tool-free Reach Adjust[™], Top Loading Pads[™], Torque Caps[™], TRX[™], TSE Technology[™], Turnkey[™], TwistLoc[™], VCCLC[™], Velocio[™], Vent Valve Technology[™], Vivid Air[™], Vuka Aero[™], Vuka Alumina[™], Vuka Bull[™], Vuka Clip[™], Vuka Fit[™], Vuka Shift[™] AXS[®], Wide Angle[™], WiFLi[™], X1[™], X3[™], X4[™], X5[™], X7[™], X9[™], X-Actuation[™], XC[™], X-Dome[™], XD[™], XDR[™], XG-1150[™], XG-1175[™], XG-1180[™], XG-1190[™], X-Glide[™], X-GlideR[™], X-Horizon[™], XLoc Sprint[™], XPLR[™], XPRESSO[™], XPRO[™], X-RANGE[™], XX[™], Zero Loss[™], ZM1 MOTO[™], ZM2[™], ZR1[™]

SRAM